

## 物語をつくる、物語を生きる

清水希容子

財団法人日本経済研究所 地域未来研究センター 上席主任研究員

1909年、日本列島の北と南で、偉大な作家が生まれた。津軽金木町（現五所川原市）の“太宰治”と小倉（現北九州市）の“松本清張”である。昨年からは、生誕百周年を記念した行事が地元で行われている。映画の上映会、講演会、朗読会、研究会などに、彼らの作品の雰囲気に触れたいと全国から人々が集まった。

文学は、地域が生んだ作家、そこを舞台にした作品、主人公の生き方など、地域が育ててきた無形財産として各地で見直されている。出身地や作品の舞台となったまちには、地図のとおり、作家の名を冠した文学館や記念館が誕生している。たとえば、石川啄木の盛岡、樋口一葉の東京台東区、島崎藤村の木曾路、室生犀星の金沢、佐藤春夫の新宮、壺井栄の小豆島……。

ゆかりの地は、物語の「ふるさと」であり、作家の意識や価値観の形成と強く結びつく。そこには、自らの生きる原点を発見し、作品創造のきっかけとなった記憶が残されている。その風土から生まれ描かれた文学には、今を生きる地域や人々に時を超えて共感を与え、暮らす地域の良さを再認識させてくれる力がある。4年前、坂口安吾の生誕百周年を迎えた新潟市では、文学にこだわらず、反骨精神をもって社会に挑戦する彼の精神を現代市民も共有しようと、安吾的な生き方をする人を顕彰する「安吾賞」が創設された。

宮沢賢治は、童話をはじめ幅広いファンをもつ。「心象スケッチ」と称して、岩手の野山を歩きながら湧き出てくる感情や思考を作品に描いた。生誕地の花巻市には宮沢賢治記念館ができ、自筆の原稿、写真や愛用品が数多く展示されている。彼を題材にした講演会、朗読会、音楽会や研究会に参加するこ

ともできる。少し郊外に足を延ばせば、イギリス海岸など作品の舞台となった場所がある。詩碑、生家、産湯をつかった井戸、いきつけの蕎麦屋のある風景に、作家や登場人物に思いを馳せながら散策する。

まちづくりのコンセプトにも、賢治の物語が生きている。「銀河鉄道の夜」のモデルとなったJR釜石線（旧岩手軽便鉄道）の各駅には作品にゆかりの愛称が付けられ、駅前広場のモニュメントやからくり時計からは賢治の作った曲が流れる。童話から命名した、公園、おしゃれなカフェや工房など、まちの至る所で“宮沢賢治の世界”に触れることができる。まちの人々は、「毎年命日には、地元小学生の合唱や高校生の野外劇など手作りで心のこもった行事（賢治祭）が行われます。私たちの心の中に、賢治さんはいつまでも生きています。」と語ってくれた。

山形県鶴岡市出身の藤沢周平は、地元庄内藩を架空の「海坂藩」に置き換え、そこを舞台とした作品を残した。北の日本海出身である彼の作品には、地吹雪、雄大な山々、民家や昔ながらの町並みなど「ふるさと」の原風景が数多く登場する。ここでは、「たそがれ清兵衛」「隠し剣鬼の爪」などの映画ロケが行われ、官民あげてその協力体制ができつつある。そして、いま市は記念館の開館準備を始めた。

日本の津々浦々で多くの文人が輩出され、地域はその舞台、創作の源となっている。文学館や記念館のあるまちは、大人の単なる観光資源ではない。文学を通して、子供たちが、暮らす地域への自信や誇りを形成する入り口となり、人としていかに生きるかを思考する大切なプロセスとなる。古今東西、この瞬間にも、物語はつくられ、人々は物語を生きている。



太宰治  
(五所川原市所蔵、  
三鷹の自宅書斎での写真)

宮沢賢治記念館  
(提供元：花巻市観光課)



### 作家の名前がついた文学館

若州一滴文庫(おおい町)  
橋塚寛記念文学館(福井市)  
中野重治記念文庫(坂井市)  
山川登美子記念館(小浜市)

谷崎潤一郎記念館(芦屋市)  
虚子記念文学館(芦屋市)  
富田碎花旧居(芦屋市)  
橋本忍記念館(市川町)  
柳田國男・松岡顕彰会記念館(福崎町)  
矢野勤治記念館(たつの市)  
山田風太郎記念館(養父市)

井上靖記念館(米子市)  
森鷗外記念館(津和野町)  
小泉八雲記念館(松江市)

中原中也記念館(山口市)  
子規記念博物館(松山市)

火野葦平資料館(北九州市)  
松本清張記念館(北九州市)  
北原白秋記念館(柳川市)

野上弥生子文学記念館(臼杵市)  
福沢記念館(中津市)

遠藤周作文学館(長崎市)  
夏目漱石記念館(熊本市)

菊池寛記念館(高松市)  
尾崎放哉記念館(土庄町)  
壺井栄文学館(小豆島町)

大原富枝文学館(本山市)  
寺田貞彦記念館(高知市)  
上林暁文学館(大方町)  
吉井勇記念館(香美市)

椋鳩十文学記念館(加治木町)  
若山牧水記念文学館(日向市)

司馬遼太郎記念館(東大阪市)  
田辺聖子文学館(東大阪市)  
川端康成文学館(茨木市)  
富士正晴記念館(茨木市)  
三好達治記念館(高槻市)  
与謝野晶子文芸館(堺市)  
直木三十五記念館(大阪市)

石坂洋次郎文学記念館(横手市)  
(財)斎藤茂吉記念館(上市市)  
藤沢周平記念館(仮称・予定)(鶴岡市)  
浜田広介記念館(高島町)  
(財)会津八一記念館(新潟市)  
坂口安吾記念館(十日町市)  
小川未明文学館(上越市)

泉鏡花記念館(金沢市)  
室生犀星記念館(金沢市)  
西田幾多郎記念哲学館(金沢市)  
徳田秋声記念館(金沢市)

藤村記念館(中津川市(旧山口村))

佐藤春夫記念館(新宮市)  
西村記念館(新宮市)  
南方熊楠記念館(白浜町)

志賀直哉旧居(奈良市)  
外村繁文学館(東近江市)  
舟橋聖一記念文庫(彦根市)

丹羽文雄記念室(四日市市)  
芹沢光治良文学館(津沼市)  
井上靖文学館(長泉町)

新美南吉記念館(半田市)

三浦綾子記念文学館(旭川市)  
渡辺淳一文学館(札幌市)  
井上靖記念館(旭川市)  
宮尾登美子文学記念館(伊達市)  
有島記念館(ニセコ町)  
石川啄木函館記念館(函館市)

太宰治記念館(斜陽館)(五所川原市)  
寺山修司記念文学館(三沢市)

(財)石川啄木記念館(盛岡市)  
宮沢賢治記念館(花巻市)  
宮沢賢治イー・トップ館(花巻市)  
高村記念館(花巻市)  
野村胡堂・あらびす記念館(紫波町)  
サトーハチロー記念館(北上市)

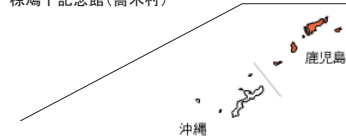
原阿佐緒記念館(大和町)  
草野心平記念文学館(いわき市)  
山本有三ふるさと記念館(栃木市)  
野口雨情記念館(北茨城市)  
田山花袋記念文学館(館林市)  
土屋文明記念文学館(高崎市)  
徳富蘆花記念文学館(渋川市)

池波正太郎記念文庫(台東区)  
本郷図書館隣外記念室(文京区)  
立原道造記念館(文京区)  
武者小路実篤記念館(調布市)  
山本有三記念館(三鷹市)  
(財)吉川英治記念館(青梅市)  
一葉記念館(台東区)  
海音寺潮五郎記念館(世田谷区)

大佛次郎記念館(横浜市)  
開高健記念館(茅ヶ崎市)  
西村京太郎記念館(湯河原市)

山中湖文学の森 徳富蘇峰館・三島由紀夫文学館(山中湖村)

池波正太郎真田太平記念館(上田市)  
藤村記念館(小諸市)  
林芙美子文学館(山ノ内町)  
堀辰雄文学記念館(軽井沢町)  
臼井吉見文学館(堀金村)  
椋鳩十記念館(喬木村)



\* 全国文学館協議会資料等をもとに財団法人日本経済研究所にて作成。  
\* 当地図は、地域未来研究センター「地域データ図書館」のホームページで拡大してご覧いただけます。